

水産技術センター試験・研究課題事後評価表

水産技術センター評価委員会

試験・研究課題名：塩類溶液を用いた水カビ病防除法の開発

大課題名：養殖漁業の振興

小課題名：安心・安全な養殖技術の確立

細目課題名：天然成分による抗菌効果試験

担当者名：研究員 三浦正之

評価項目	評価点	指摘事項
1 研究目標の達成度	4 / 5	実際に多数の卵での試験の効果は未だ見られない。しかし、一定の目標は達成できた。
2 成果の有用性 (普及性、波及性)	5 / 5	有用性は高い。KCL は価格も安く、安全である。
3 研究の発展性	5 / 5	発展性はある。実用化を期待したい。ニジマス、イワナ、ヤマメへの応用も期待する。
4 研究課題選定の妥当性	5 / 5	着眼点が良い。課題に対して独創的な取り組みである。
総合評価	5 / 5	課題の必要性は高く、一定の効果が見られた。実用性に近づいている。

「注」評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

- 事業規模での実証を経て、実用化する。
- 他の魚種への効果についても、引き続き検討する。